

# 平成28年度 第1回消費生活モニター意見交換会報告

日時 平成28年7月15日（金） 13時30分～16時00分  
会場 川崎市産業振興会館 第3研修室 出席者 14人  
次第 1 開 会  
2 あいさつ  
3 講演及びワークショップ  
テーマ 「私たちのくらはすべて世界につながっている  
～商品の一生を知ろう くらしのなかの石油～」  
講 師 公益社団法人  
日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会  
(NACS)  
大石 美奈子（ファシリテーター）  
辰巳 菊子（ミニ講座講師）  
4 閉会・事務連絡

## ～講義概要～

★ 最初に大石さんから「ワークショップ」について、お話しをしていただきました。

「ワークショップ」は日本語で言えば「働く場」や「共同する場」ということなのですが、ここでの「ワークショップ」の意味は、皆で参加して皆で作出すことです。皆さん一人ひとりが講師であり、私は今、目の前でお話しをさせていただいています。が、「ファシリテーター」といって、皆さんの話を引き出す役割です。

お産婆さんでいえば、生まれてくるのは赤ちゃんで、産むのはお母さんでそれを一生懸命お手伝いするのが、お産婆さんですが、この場で、私はお産婆さんの役割を行います。



大石さん

辰巳さん

★ 「アイスブレイク(\*注)」として、グループごとに自己紹介と「モニターに参加した動機・今まで使ってみて良かったエコ商品」について簡単な意見の交換を行った後、グループの代表者が発表を行いました。

(\*注)アイスブレイクとは、初対面の参加者の緊張感をほぐし、話しやすい和やかな雰囲気をつくり、参加者同士が知り合うきっかけ作りのために行う簡単な作業のこと。

◆今まで使ってみて良かったエコ商品◆

- 充電式乾電池  
使い捨ての電池よりもコストは安く済みます。
- アロマオイルで作る虫除けスプレー  
作り方は水を80、エタノールを20入れて  
アロマオイル（ラベンダー、レモンユーカリなど）を10滴入れる  
化学物質を使っていないので環境に優しくとてもエコです。



「これ何だと思いませんか。実はアルミ缶のプルトップを集めて作ったバックなのです。廃品利用ではないですが、すごくおしゃれでカッコよくて、持っていたら話題にもなりますし、紹介しました。ただ値段が少し高いです。」

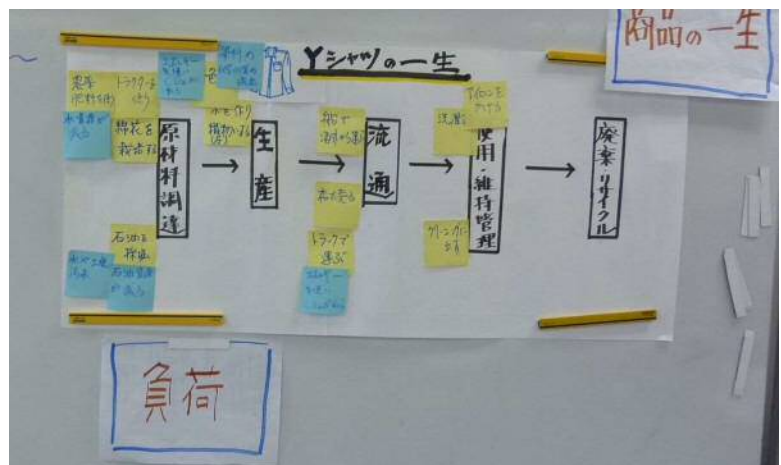
★ 「ワークショップ」に入る前に、大石さんから例として「ワイシャツの一生」を説明していただきました。

☆商品の一生を考える『物にも一生があります。』

原材料調達 → 生産 → 流通 → 使用・維持管理 → 廃棄・リサイクル

その商品の一生のなかで、どんな**負荷**がかかっているのか考えてみましょう。

負荷⇒環境に与える悪い影響のこと



★ 「花」と「魚」の一生について、「それぞれの場面でどういうことが起きているか」を黄色の付せん、「それによってどんな環境への負荷が起こっているか」をピンクの付せんに各自で書き出し、その後グループで意見交換を行いました。

★ グループで話し合った意見をもとに、各グループの代表者が発表し、他のグループとの質疑応答を行いました。

- ★ ミニ講座として、配布資料「商品の一生を知ろう～くらしのなかの石油～」を基に、講師から「持続可能なくらし」や「節電のために覚えてほしいこと」などについて説明を受けました。

【講座要旨】

◎持続可能なくらし

命をずっと繋いでいくこと。自分の将来、子供の将来、孫の将来というような長期的に命を繋いでいくことができ、無理がない。そういうくらしでないといけない。トータルに考えると安心できるくらしがずっと繋がること。

◎CO<sub>2</sub>ってなんだろう

CO<sub>2</sub>が沢山増えると地球の回りにマグマの膜ができてしまって、中の熱が外に放出されなくてどんどん地球上の気温が高くなってしまって温暖化になっていく。

◎命を繋いでいくのは人間の命だけではない。

- ★ ふりかえりの時間として、各自「ふりかえりシート」に今日体験して思ったことなどを記入し、最後に、一人ひとり参加して感じたことなどを一言ずつ発表して終了となりました。

《 全体から 》

今回の意見交換会は、～商品の一生を知ろう くらしのなかの石油～について、身近な商品や食品である花及び魚の一生というテーマについてワークショップ形式で、参加者が主体的に考え、意見を出し合っていました。石油から連想するものはエネルギーや自動車の燃料を想像しているかと思いますが、商品の収穫、加工、運搬、商品としての物との係わりの中で石油が廃棄・リサイクルに至るまで密接に結びついていることについて考え直すよい機会となりました。

今回学び合ったことを、家庭や地域など、日常の活動の場に持ち帰ることが、社会全体の意識を変えることにつながっていきます。

皆さんが買い物をする時などに、「商品の一生」を知ることでより環境に配慮した選択を心掛け、グリーンコンシューマーになっていただけることを期待しています。